

エコアクション21

# 環境経営レポート

2023年度

(対象期間：2023年4月～2024年3月)



2024年5月16日 発行

野田市再資源化事業協同組合

# 1. 組織の概要

(1) 事業所及び代表者名

組織名：野田市再資源化事業協同組合  
 代表者名：代表理事 西村久行

(2) 所在地

事業所及び加工場及び駐車場：〒278-0015 千葉県野田市西三ヶ尾 410番地の2

(3) 設立年月日

平成11年1月18日

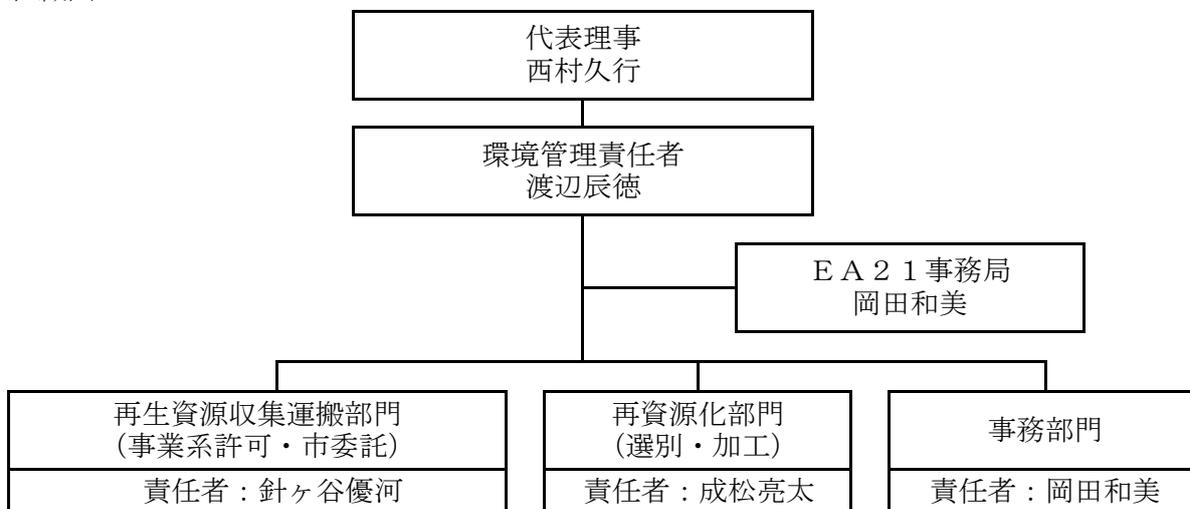
(4) 資本金

4,500万円

(5) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

環境管理責任者：渡辺辰徳（工場長）  
 担当者連絡先：岡田和美（庶務課長）  
 （電話）04-7123-1513 （FAX）04-7138-6482

(6) 組織図



(7) 役割・責任

担 当	役割・責任
代表者	・ 経営における課題とチャンスの明確化 ・ 環境経営方針の決定 ・ 代表者による全体の評価と見直し ・ 環境管理責任者の任命 ・ 必要な経営資源の投入
環境管理責任者	・ 環境経営システムの確立 ・ 環境経営システムの維持 ・ 環境経営システムの実施 ・ EA21の活動状況報告
E A 2 1 事務局	・ 環境管理責任者の補佐
各部門	・ 環境経営計画の実施 ・ 問題点の把握と是正の実施 ・ 月別部門データの集計

(8) 事業の内容

- ・ 再生資源の回収・選別・加工・販売
- ・ 一般廃棄物（特定家庭用機器廃棄物及び小型廃家電に限る）の収集運搬

## (9) 事業の規模

項目	(2021年4月 ～2022年3月)	(2022年4月 ～2023年3月)	(2023年4月 ～2024年3月)
	2021年度	2022年度	2023年度
売上高(百万円)	293.6	310.9	295.3
従業員(人)	14	14	14
事務所床面積(m <sup>2</sup> )	149.36	149.36	149.36
敷地面積(駐車場含む)(m <sup>2</sup> )	2,731.92	2,731.92	2,731.92

## (10) 環境への負荷の状況

環境への負荷		単位	2021年度	2022年度	2023年度
※1 ①温室効果ガス排出量	二酸化炭素排出量	kg-CO <sub>2</sub>	40,239	40,049	42,040
②受託した再生資源の運搬量	収集運搬量	t	4,205	4,348	3,782
※2 ③受託した一般廃棄物の運搬量	特定家庭用機器	台	74	70	84
	小型廃家電	t	148	130	129
④自組合廃棄物排出量	一般廃棄物	t	0.1	0.1	0.1
	産業廃棄物	t	0.0	0.0	0.0
⑤-1 総排水量	下水道	m <sup>3</sup>	201	193	187
⑤-2 水使用量	水道、地下水	m <sup>3</sup>	201	193	187
⑥化学物質使用量	なし	kg	0	0	0
⑦エネルギー使用量	購入電力量	kWh	42,373	43,152	44,382
	軽油	ℓ	7,397	7,332	7,908
	ガソリン	ℓ	538	375	337
⑧物質使用量	資源使用量(コピー用紙)	kg	100	100	100
	循環資源使用量	t	0	0	0
⑨サイト内で循環的利用を行っている物質等	利用された物質量	t	0	0	0
	水の利用量	m <sup>3</sup>	0	0	0

※1 CO<sub>2</sub>の排出係数は、平成30年12月に環境省が公表した「電気事業者別排出係数」から東京電力エナジーパートナー(株)の実排出係数『0.462kg-CO<sub>2</sub>/kWh』を使用しました。

※2 収集運搬する一般廃棄物はテレビ、冷蔵庫等の「特定家庭用機器」と一般家庭から回収する「小型の廃家電」に限っています。なお、小型廃家電については野田市及び引受先との三者契約により収集運搬事業を行っております。

## (11) 許認可一覧

## &lt;一般廃棄物処理業の許可の内容&gt;

No.	市町村名	許可番号	取扱廃棄物の種類	処理区分	許可年月日及び有効期限
1	野田市	指令第135号 許可番号第45号	一般廃棄物 (特定家庭用機器)	収集・運搬	令和5年2月18日
					令和7年2月17日
2	柏市	特第21号	ごみ (特定家庭用機器廃棄物に限る)	運搬・荷卸	令和5年4月1日
					令和7年3月31日

(12) 車両・設備の状況

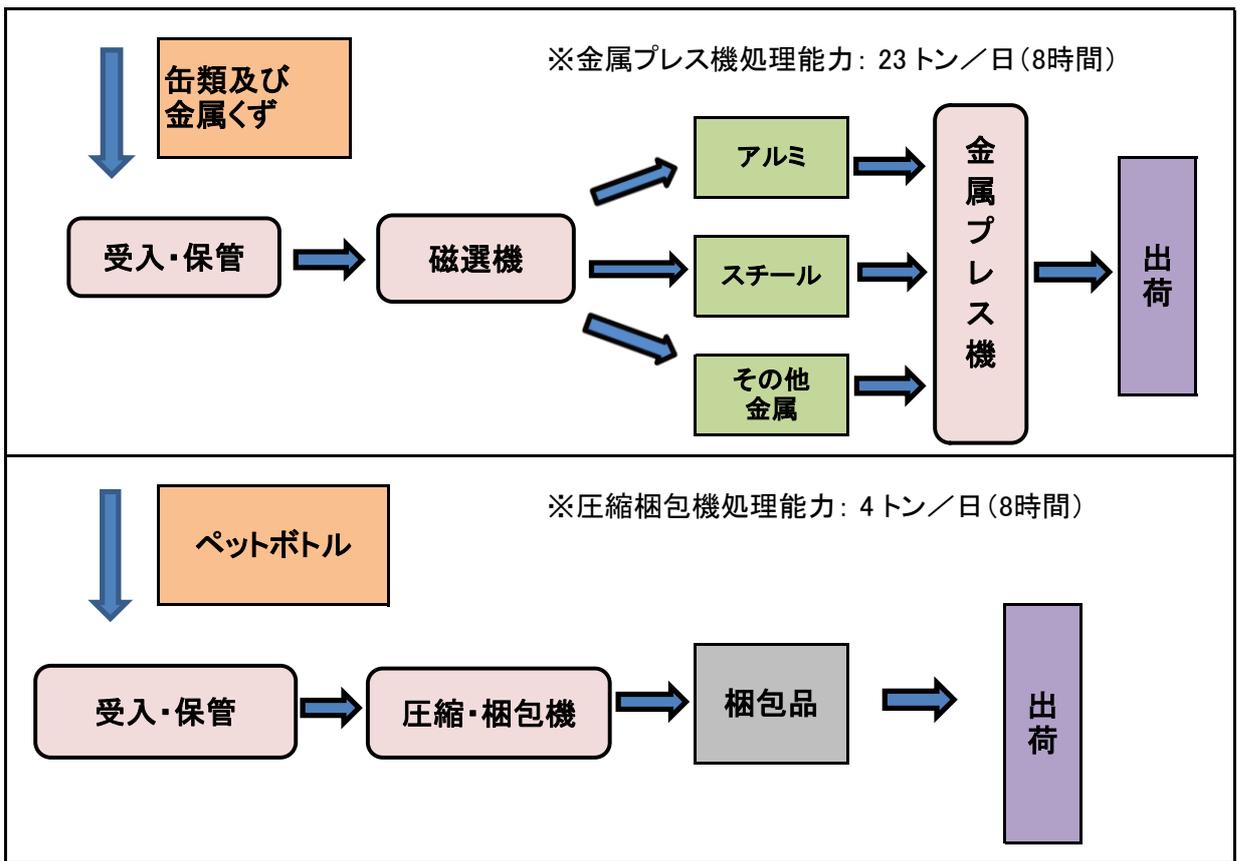
①車両

車両形式	最大積載量 (トン)	保有台数 (台)
塵芥車	2.7~2.75	2
脱着装置付コンテナ車	3.0~3.85	2
キャブオーバ	3.0	1
合計		5

②設備

- ・トラックスケール 1台
- ・金属プレス機 1台
- ・圧縮梱包機 1台
- ・リフト 3台
- ・ショベルローダー 1台
- ・油圧ショベル 1台

【選別設備フロー図】



(13) 環境保全措置

- ・分別収集運搬を心掛け、作業を迅速に行うとともに、搬送時は必要に応じてシート掛けをして飛散防止対策を行う。
- ・特定家庭用機器類などは必要に応じてロープなどで固定して搬送する。
- ・車両や容器などは清潔な状態であるように努める。
- ・収集運搬の緊急時に備えて、従業員に教育活動を行う。
- ・エコアクション21認証登録を取得・維持する。
- ・エコキャップ活動を推進する。
- ・近隣地域の環境保全活動に貢献する。

(14) 再生資源物の収集運搬量実績

単位：(トン)

種類	2021年度	2022年度	2023年度
繊維類	404.2	352.3	392.1
金属類	373.9	324.7	371.3
空き缶	272.2	245.7	229.2
ビン類	539.7	485.4	451.3
雑紙	884.1	818.1	799.3
新聞	781.7	707.5	627.0
段ボール	677.7	1,152.0	647.0
ペットボトル	271.5	261.9	264.3
合計	4,205.0	4,347.6	3,781.7

(15) 一般廃棄物（特定家庭用機器）の収集運搬量実績

単位：(台)

種類	2021年度	2022年度	2023年度
テレビ	50	48	52
エアコン	0	3	3
冷蔵庫	15	17	17
洗濯機	9	2	12
合計	74	70	84

(16) 市から受託した小型廃家電の収集運搬量実績

単位：(トン)

種類	2021年度	2022年度	2023年度
小型廃家電	148.21	129.54	129.02

(17) 再生資源物のプレス加工処理量実績

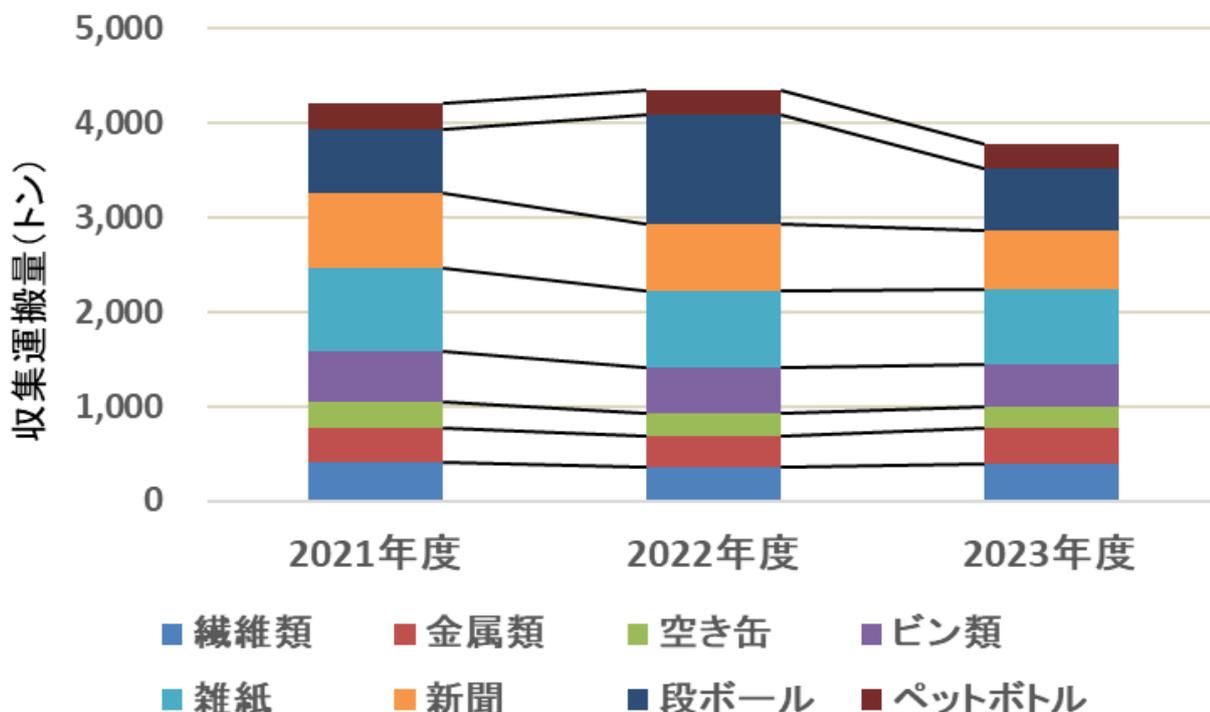
単位：(トン)

種類	2021年度	2022年度	2023年度
空き缶等	462.5	424.6	371.4
金属類（自転車等）	44.7	34.2	27.4
ペットボトル	311.4	309.2	300.9
合計	818.6	768.0	699.7

注)

再生資源物のプレス加工処理は、収集運搬されたものと持ち込みによるものを合わせて、選別後に処理するため、収集運搬量とは一致していません。

### 再生資源物の収集運搬量推移



## 2. 対象範囲（認証登録範囲）、レポートの対象期間及び発行日

対象事業所：リサイクルセンター

対象事業活動：一般廃棄物（再生資源・特定家庭用機器・小型廃家電）収集運搬業  
一般廃棄物（再生資源）中間処理業・販売業

認証・登録番号：0011994

認証・登録日：2017年9月22日

対象期間：2022年4月～2023年3月

環境活動レポート発行日 2024年5月16日

## 3. 環境経営方針

### 野田市再資源化事業協同組合

## 環境経営方針

### 《基本理念》

野田市再資源化事業協同組合は、野田市域内の再生資源業者の結束により、平成11年1月に組合を設立し、資源ごみの収集及び選別加工などを協同受注し、野田市域内におけるリサイクル循環型社会の構築に向けて取り組んでまいりました。

野田市は千葉県内でもトップクラスの再資源化率となっており、環境の世紀といわれる中、リサイクルは一層重要なものとなってきています。組合員一同、再生資源の収集、リサイクルを通して地域の環境保全へ貢献してまいります。

### 《行動指針》

野田市再資源化事業協同組合は、下記の項目について自主的かつ積極的に取り組み、環境経営システムを構築し継続的な改善に努めます。

1. 野田市域内の再生資源業者の結束及び利害調整並びに環境行政と協力・連携を図り、環境経営システムを活用し、環境保全活動の継続的改善に努めます。
2. 環境に関連する法規制、及び当組合が約束した要求事項を順守します。
3. リサイクルセンター内設備の適正管理により、電気使用量の削減に努めます。
4. 収集運搬車両のエコドライブ、アイドリングストップ等で燃料使用量の削減に努めます。
5. 野田市から委託される資源ごみの回収を行い、適正なる再資源化に努めます。
6. 節水の徹底により水使用量の削減に努めます。
7. 組合員に環境方針を周知させると共に、環境活動の取組を環境活動レポートに取りまとめ公表します。

作成2016年4月1日

改訂2020年4月1日

野田市再資源化事業協同組合

代表理事 西村久行

#### 4. 環境経営目標

2021年度（2021年4月～2022年3月）の実績を基準とし、3ヶ年分の中期計画の環境目標を設定しました。

##### 2022～2024年度 環境経営目標

No.	環境経営目標項目	※1基準値 (2021年度 実績)	2022年	2023年	2024年
①	電気使用量の削減	4,687 kWh/月	1%削減 4,640 kWh/月	2%削減 4,593 kWh/月	3%減 4,546 kWh/月
②	軽油使用量の削減 (燃費の向上)	2.98 km/L	1%向上 3.01km/L	2%向上 3.04km/L	3%向上 3.07km/L
※2 ③	(二酸化炭素排出 量の削減)	51,600kg- CO <sub>2</sub> /年	1%削減 51,084kg-CO <sub>2</sub> /年	2%削減 50,568kg-CO <sub>2</sub> /年	3%削減 50,052 kg-CO <sub>2</sub> /年
④	受託廃棄物収集運 搬業務上のクレ ーム件数を削減する	0 件/年間	ゼロ件/年	ゼロ件/年	ゼロ件/年
⑤	水使用量の削減	42m <sup>3</sup> / 2ヵ月	1%削減 41.6m <sup>3</sup> /2ヵ月	2%削減 41.2m <sup>3</sup> /2ヵ月	3%削減 40.7m <sup>3</sup> /2ヵ月
⑥	当組合からの廃棄 物排出量削減	0.2t/年	現状維持 (0.2 t/年)	現状維持 (0.2 t/年)	現状維持 (0.2t/年)

※1：基準値は2021年度活動のデータ平均値（ $\bar{x}$ ）に、ばらつきを考慮して1.5 s（標準偏差）分を加減した数値を基準値（実績値）としています（水使用量は2020年度～2021年度 $\bar{x}+1.5s$ 分）。

※2：二酸化炭素排出量の削減テーマについては、電気と軽油の使用量削減テーマとして推進しており、間接的な目標値としています。

#### 5. 環境活動計画（主な施策）

- |   |   |
|---|---|
| <p>① 電気使用量の削減</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 空調の適正温度管理</li> <li>・ 節電教育の実施（再資源化設備の適正管理）</li> </ul> <p>② 軽油使用量の削減（燃費の向上）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ エコドライブの推進</li> <li>・ 車両整備の徹底</li> <li>・ アイドリングストップの徹底</li> </ul> <p>③ 二酸化炭素排出量の削減</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 上記①、②の活動により削減する。</li> </ul> <p>④ 受託廃棄物収集運搬業務のクレーム削減</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 行政と連携した資源物分別排出の啓発活動</li> <li>・ 組合員企業との情報の共有化推進</li> </ul> | <p>⑤ 水使用量の削減</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 節水教育と周知徹底</li> <li>・ 分別処理場構内散水の効率的運用</li> </ul> <p>⑥ 当組合からの廃棄物排出量削減</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 資源ごみの分別の徹底</li> <li>・ 失敗コピーの削減と裏紙の再利用</li> </ul> |
|---|---|

## 6. 環境経営目標の実績

No.	環境経営目標項目	基準値 (2021年度実績)	2023年度目標 (2023年4月～ 2024年3月)	結果 (2023年度)	評価
①	電気使用量の削減	4,687kWh/月	2%削減 4,593 kWh/月	目標比19.5%減 3,699 kWh/月	○
②	軽油使用量の削減 (燃費の向上)	2.98km/L	2%向上 3.04km/L	目標比132.6%向上 4.03 km/L	○
③	(二酸化炭素排出 量の削減)	51,600kg-CO <sub>2</sub> /年	2%削減 50,568kg-CO <sub>2</sub> /年	目標比16.9%減 42,040 kg-CO <sub>2</sub> /年	○
④	受託廃棄物収集運 搬業務上のクレ ーム件数を削減する	ゼロ件/年	ゼロ件/年	ゼロ件/年	○
⑤	水使用量の削減	42 m <sup>3</sup> /2ヶ月	2%削減 41.2m <sup>3</sup> /2カ月	目標比24.3%減 31.2 m <sup>3</sup> /2ヶ月	○
⑥	当組合からの廃棄 物排出量削減	(一般廃棄物 0.2 t/年)	現状維持 (0.2 t/年)	現状維持 (0.2t/年)	○

※評価： ○（目標達成） ×（目標未達成）

### 【評価】

#### ①電気使用量の削減

今年度は電気使用量が上がる夏場の8月に単月で目標未達が発生しましたが、その他の月は単月、累積共に目標の逸脱は無く、目標4,593 kWh/月に対して19.5%減の3,699kWh/月で順調に活動を終わることができました。

次年度目標はさらに厳しくなりますが、安定した環境軽減活動に努めます。

#### ②軽油使用量の削減（燃費の向上）

本テーマも9月に単月で目標未達が発生しましたが、その他の月は単月、累積共に目標の逸脱はなく、目標比132.6%向上の4.03km/lで目標を達成しました。

運搬車両の燃費は経年で変化していきますので、各車両ごとの燃費には注意をし、あらためてエコドライブ、アイドリングストップの取組を徹底の上、次年度も引き続き推進していきます。

#### ③二酸化炭素排出量の削減

二酸化炭素排出量は電気使用量削減と軽油使用量削減の両テーマが目標を達成しましたので、それに伴い二酸化炭素排出量も目標以下となり、目標比16.9%減の42,040 kg-CO<sub>2</sub>/年で目標を達成できました。次年度も省エネ活動を推進します。

#### ④受託廃棄物収集運搬業務のクレーム削減

収集の際の「取り残し」等のクレーム件数の削減テーマに取り組んで5年目になりますが、クレームゼロを継続しており、今年度も取残し等のクレームはありませんでした。

組合員企業との情報の共有化を推進し、「クレームゼロ」を合言葉に組合員企業の協力を得ながら取り組んだ成果です。今後も継続して行きます。

#### ⑤水使用量の削減

水道は主に洗車排水と事務所の生活水として使用しています。節水教育を徹底し、節水意識の向上を図っていますので、今年度も目標値をクリアすることができました、目標比24.3%削減の31.2m<sup>3</sup>/2ヶ月で活動を終わりました。次年度も継続します。

## ⑥当組合からの廃棄物排出量削減

裏紙を再利用したり、両面印刷の機能を積極的に活用し、自社からの紙ごみの排出量抑制に取り組んでいます。また、資源ごみはリサイクルセンター内の手選別コンベヤ及び機械選別並びに手選別解体選別により資源物を徹底的に回収しており、事務所内の廃棄物以外は発生していません。引き続き現状維持に努めます。

## 7. 環境活動計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容

	環境活動計画の内容	環境活動計画（施策）	評価	次年度の取組内容
①	電気使用量の削減	空調の適正温度管理	4	継続して推進する。
		節電教育の実施（再資源化設備の適正管理）	5	継続して推進する。
②	軽油使用量の削減（燃費の向上）	エコドライブの推進	5	朝礼時の呼びかけを徹底する。
		車両整備の徹底	5	継続して推進する。
		アイドリングストップの徹底	4	朝礼時の呼びかけを徹底する。
③	二酸化炭素排出量の削減	上記①、②の活動により削減する。	5	エコドライブ徹底をさらに推進する。
④	受託廃棄物収集運搬業務上のクレーム件数を削減する	行政と連携した資源物分別排出の啓発活動	5	継続して推進する。
		組合員企業との情報の共有化推進	5	共有化の徹底を図る
⑤	水の使用量削減	節水教育と周知徹底	5	継続して推進する。
		分別処理場構内散水の効率的運用	5	継続して推進する。
⑥	当組合排出の廃棄物の削減	資源ごみの分別の徹底	5	継続して推進する。
		失敗コピーの削減と裏紙の再利用	4	継続して推進する。

（評価点） 5点：90%以上 4点：70%以上 3点：50%以上 2点：30%以上 1点：30%未満

（スケジュールに対する進捗度、目標値に対する達成度、取組み内容の適切性、及び推進者担当者の積極性等を総合的に評価しました）

## 8. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

2024年3月に環境関係法令等の遵守状況を確認した結果、問題はありませんでした。

なお、過去5年間、関係当局からの違反及び近隣からの苦情等の指摘はなく、また訴訟もありません。

★ 遵守すべき主な環境関連法令は下記の通りです。

- ・廃棄物の処理及び清掃に関する法律
- ・計量法
- ・家電リサイクル法
- ・浄化槽法
- ・小型家電リサイクル法
- ・労働安全衛生法
- ・特定家庭用機器再商品化法 等

## 9. 代表者による全体の評価と見直しの結果

今年度は電気使用量の削減と軽油使用量削減の両テーマで、単月目標で各1度ずつ目標の未達成がありましたが、その他のテーマも含めて1年間を通して目標の逸脱はなく、概ね順調に環境活動を推進でき、全テーマ目標を達成できました。全テーマの目標が達成できたのは一重に環境軽減活動が全従業員に定着した結果が、現れたものと思っております。

今後も従業員ともども環境軽減活動の進展に努め、引き続きEA21活動を推進して参ります。なお、環境経営方針、環境経営目標及び環境経営計画、実施体制の変更はありません。

## 10. 周辺地域等の環境活動

- ・ 組合事務所周辺地域の清掃活動を年4回実施しており、今後も活動を継続します。
- ・ 環境活動の一環としてエコキャップ回収活動を実施しています。
- ・ 野田市主催の地域清掃のボランティア活動に参加しています。

### 【組合事務所周辺の除草及び清掃作業】

